

ふじみ野

市議会だより

No.31

H25.11.1 発行

CONTENTS

財政や事業の執行をチェック! 2p

平成24年度一般会計決算認定

一般会計決算討論 6p

来年夏の稼働へ 小中学校エアコン設置 7p

平成25年度一般会計補正予算

一般質問 17人が政策論議 8p

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan



働く人シリーズ⑩ 食品製造加工業

朝の工場にドーナツの香りが充満する。一つ一つの作業に職人の魂が光る。できたてを手早く送り出す。

平成25年第3回（9月）定例会は、平成24年度の決算認定及び一般会計補正予算など議案29件、議員提出議案8件が審議されました。各議案は、本会議場における会派別総括質疑の後、決算特別委員会、各常任委員会が審議を行いました。

決算認定では、財政課題や主要事業の執行状況が問われました。最終日には追加議案として、本庁舎増築、耐震工事の請負契約などが提案され、本議会で審議されました。

今年8月にオープンした西児童センター



平成24年度 一般会計 決算認定 財政や事業の執行をチェック！

平成24年度 決算の特徴

※万円未満四捨五入

歳入 …増減した主なもの

市民税	24年度 71億4531万円	前年度対比	23年度 68億378万円	3億4153万円増
固定資産税	24年度 63億514万円	前年度対比	23年度 65億4238万円	2億3724万円減
地方交付税	24年度 37億4164万円	前年度対比	23年度 36億4704万円	9460万円増
市債	24年度 32億3686万円	前年度対比	23年度 21億5254万円	10億8432万円増

歳入 決算総額 345億6836万円
前年度対比 5.0%増 (16億4598万円)

歳出 …増減した主なもの

人件費	24年度 56億4608万円	前年度対比	23年度 59億3040万円	2億8432万円減
扶助費	24年度 76億3066万円	前年度対比	23年度 72億7300万円	3億5766万円増
公債費	24年度 27億8833万円	前年度対比	23年度 28億3506万円	4673万円減
普通建設事業費	24年度 28億1498万円	前年度対比	23年度 20億978万円	8億520万円増

歳出 決算総額 328億7427万円
前年度対比 4.3%増 (13億6353万円)

歳入歳出差引額 16億949万円
実質収支額 14億6190万円

翌年度へ繰り越すべき財源 2億3219万円

●主な質疑

経常収支比率

問 今後の経常収支比率（※）の見通しは。

答 経常収支比率は健全な財政運営のために75%から80%未満が妥当とされているが、県市部平均は90・1%と、ほとんどの市で苦慮していると思われる。

本市は、平成19年度決算で県内市部ワーストの97・1%となつて以降、改善の努力を行い、平成23年度は89・0%と県市部平均を初めて下回つた。しかし平成24年度は89・2%と前年度に比べ0・2ポイントほど後退することになった。

主な要因は、人件費や公債費の減少など良化の要因に比べ、扶助費の

増加など悪化の要因が上回つたため、経常経費に充当した一般財源は約2億900万円増加した。

今後の見通しについては、2年後の合併特例期間の終了により、地方交付税が段階的に縮減されること、歳出面では扶助費や公債費の増加が見込まれるなど、経常収支比率を悪化させる要因があり、厳しい見通しである。

市税5800万円増

問 市税の収税状況は。

答 市税の収入総額は約152億2500万円円で、前年度対比約5800万円の増となっている。税目ごとでは、個人

収税対策

問 低所得者の担税力と収税状況は。

答 滞納者の人数は、高所得者に比べて低所得

自主財源の確保

問 自主財源確保の方策は。

答 平成24年度は、個人市民税などの増加のほか、広域ごみ処理施設建

見積もりの方法

問 民間業者に参考見積もりを依頼した場合のチェックは。

答 見積もりの対象は内部積算が困難なものに限って行い、原則3社以上から徴収することにしている。あくまで補完的な価格であつて、最終的には担当者が適正な積算を行っている。

- ◆議案に対する質疑
- 誠風会 福村光泰 議員
 - 信政会 西和彦 議員
 - 公明党 岸川彌生 議員
 - 日本共産党 塚越洋一 議員

※経常収支比率 自治体が自由に使えるお金（税金等）に対して、公債費や人件費などの固定費が占める割合。

家族みんなで行こう

新春ロードレース大会事業 68万円

●主な質疑

問 新春ロードレースの参加者の状況は、直近3年間の参加者数は毎回1200人前後、親子の部の参加も多

答 親子の部の参加も多、年齢層は子どもから高齢の方まで幅広い。今後の課題と方向性は、

グなどの記録媒体を使用し、参加者の増加にも対応できるように検討している。

問 将来的には近隣の市町と共同開催など事業の拡大を図ってみたい。

答 市としては、埼玉県のマラソングランドスラムという連絡協議会に加盟しているが、今後も他市の大会の特徴などを参考に検討する。



災害への備えを

災害対策事業 1881万円

●主な質疑

問 防災訓練で要援護者の避難施設開設訓練は

答 福祉避難所は5カ所指定している。通常の避難所への誘導訓練は行ったが、福祉避難所開設訓練までは至っていない。

問 児童災害への対策は、

答 地域防災計画の見直しの中で対策を厚くしていく。



利用負担の軽減を

病児・病後児・緊急サポート事業委託料 126万円

●主な質疑

問 病児・病後児・緊急サポート事業の内容は、

答 病児・病後児の保育を希望する保護者に対して、保育を提供できる人をあつせんして橋渡しをする事業の運営を、

NPO法人「病児・病後児保育をつくる会」に委託している。保育料金は、昼間は1時間千円、夜間は1200円、宿泊を伴う午後6時から明朝9時までは1万円である。

問 本事業の利用状況は、

答 年間の利用状況は、平成23年度31件、平成24年度40件となっている。今後の方向性は、



風を感じて…

自転車等による協働のまちづくり事業 実行委員会補助金 10万円

●主な質疑

問 「自転車等による協働のまちづくり事業」の内容は、

答 埼玉県の自転車保有率日本一という特色を生かした中で、「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」などの取り組みを受けて、

実行委員会を立ち上げている。平成24年度の事業は、高齢者や視覚障がいのある方などにも、健康者との2人乗りができるタンDEM自転車を利用して、風を感じてもらいたいという試みで事業を展開した。



タンDEM自転車

市民活動活性化の かなめにか

市民活動支援センター運営事業 482万円

●主な質疑

問 市民活動支援センターの利用実績が大きく伸びているが、どう評価しているか。

答 昨年度の利用件数が3080件、延べ人数7843人、4年前と比較すると件数で43%、人数では70%増で、市民活動が活発になってきている。市民の参加と協働の推進が、利用状況を上げ

ており、今後も周知が図れるように考える。



市民講座を開催中

意見書

埼玉県立大学への医学部設置を求める意見書

9月18日付けで、内閣総理大臣・厚生労働大臣に提出しました。

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決

…平成24年度決算 ……

- 一般会計
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 後期高齢者医療事業特別会計
- ◎下水道事業特別会計
- ◎水道事業会計

以上、認定

…平成25年度補正予算 ……

- 一般会計(第4号)・(第5号)
- 国民健康保険特別会計(第1号)
- 介護保険特別会計(第1号)
- 後期高齢者医療事業特別会計(第1号)
- 下水道事業特別会計(第1号)

…条例の制定 ……

- 市長等の給料の額の臨時特例に関する条例
- ◎市職員の給与の臨時特例に関する条例
- ◎地域自立支援協議会条例
- ◎子ども・子育て会議条例

…条例の一部改正 ……

- ◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
- ◎市職員の給与に関する条例
- 公共下水道事業受益者負担に関する条例
- ◎特定目的借上公共賃貸住宅条例
- ◎市営住宅条例
- ◎市道路占用料徴収条例

…契約の締結 ……

- ◎防災行政無線統合化等工事請負変更契約
- ◎本庁舎増築、耐震補強及び大規模改修工事請負契約

…その他 ……

- ◎道路線の廃止・変更・認定(各1件)
- ◎老人福祉センター太陽の家の指定管理者の指定期間の変更

以上、可決

…人事 ……

- ◎公平委員会委員の選任

同意

…意見書 ……

- ◎埼玉県立大学への医学部設置を求める意見書

可決

- ・日本国憲法を守ることを求める意見書
- ・消費税増税中止を求める意見書
- ・環太平洋パートナーシップ(TPP)交渉からの早期離脱を求める意見書
- ・福島第一原子力発電所における汚染水流出問題について政府の直轄による危機管理を求める意見書
- ・高校の授業料無償制度の継続堅持を求める意見書
- ・労働者保護の規制緩和に反対する意見書
- ・シリア問題の平和的解決を求める意見書

以上、否決

請負契約締結

全員賛成で可決

本庁舎増築・耐震補強及び大規模改修工事
契約金額…16億6821万円

より安全と利便性に配慮

●主な質疑
問 耐震性は、どの程度改善されるのか。
答 震度6強（現在6弱）に耐えられるようになる。
問 バリアフリーは、多機能型トイレの増設、1階フロアの廊下の幅を広げたり、段差の解消、議会傍聴者のため

災害対策本部として耐震性を考慮し、ふじみ野市役所本庁舎を増築耐震補強・大規模改修します。窓口を1階と2階に集中させ、平成28年に完成する予定です。改修後、何がどのように変わるのか質問が集中しました。

●主な意見
成 夜間や閉庁日など市民が利用できるよう対応してほしい。
替 業務を行いながらの工事になるので、事業者との安全対策協議が重要だ。

子ども・子育て会議条例

条例制定

全員賛成で可決

多様化するニーズに応じた支援を

●主な質疑
問 次世代育成支援協議会の委員を移行して会議を進めるのか。
答 公募の委員を含めて、現協議会の委員を主に考えていく。
問 アンケート調査はどのように行うのか。

子ども・子育て支援を総合的に推進することを目的とした新制度が、平成27年度に開始される予定です。この制度では、市町村に対し地域の実情に応じた子ども・子育て支援事業計画の策定を義務づけているほか、子育て当事者等の意見反映や計画推進に当たっての施策の実施状況等について調査審議する附属機関の設置が求められています。会議の委員の構成や新制度の周知方法など議論がありました。

●主な意見
成 女性の社会進出に対応できる支援策をつくる必要がある。
替 現行の保育制度を後退させないよう、独自の計画をつくるべき。

補正予算

賛成多数で可決

小中学校空調設備 補正額…2億9072万円

来年夏にエアコン稼働

来年6月までの工事完了を目指し、今回、工事費が追加されました。来年の夏はエアコンのもとでの授業となります。総括質疑、委員会審査を通して多くの質疑がありました。

問 設置工事にかかる財源は。
答 2ヵ年度にわたるため、継続費として補正。国と県からの補助金3分の1、残りは合併特例債を活用する。
問 工事の対象となる教室数は。
答 市内全小学校と中学校の普通教室330室と、音楽室13室である。
問 設定温度など、使用に当たったのルールはどうか。
答 省エネなどを考慮して、今後定めていく。

民間保育園運営事業 補正額…1667万円

0・1歳児の受け入れ拡充へ

待機の多い0歳児と1歳児を受け入れるため、なかよし保育園に新たな分園を整備します。

問 分園整備の概要は。
答 現在の本園とは別に、上福岡一丁目にある3階建てビルの2階に保育室を整備、1階に調理室を設ける。耐震及び消防法の基準は確認した。
問 分園を整備することにより、定員数はどうなるのか。
答 これまでの定員80人から100人に拡大される。

賛成
公明党 伊藤美枝子議員
計画的な基金の積み立てを要望



大井総合支所窓口

賛成
無所属 小林憲人議員
各基金への積み立てと子育て施策を評価

平成28年度以降の地方交付税低減を見据えた、過不足ない各基金への積み立て。次世代を担う子どもたちや子育て世代への施策展開を評価する。今後も経常経費の縮減や各基金への積み立てに努め、歳入増加につながる施策展開が図られることに期待し、賛成とする。

賛成
信政会 鈴木啓太郎議員
職員等、人的努力が際立っている

経常収支比率が0.2ポイント後退した。新規採用を控え公債費を減少させても、扶助費の増加がそれを上回った。合併特例期間を有効活用し、基金の積み立てを行うのは正しい。職員、市民、事業者の人的努力が際立っている。収納率もアップし、指定管理者事業で業績を上げて財政の苦しさをカバーしていることを評価する。

賛成
誠風会 小高時男議員
財政指標の改善に努め財政に弾力を

経常収支比率は89.2%で、前年度対比0.2ポイントの上昇であるが、特に扶助費の伸びが大きい中で、この程度の上昇に抑えられたことは評価できる。しかし、今が合併の特例期間であるということからも、引き続き財政指標の改善に努め、財政に弾力を持たせることが重要である。

平成24年度
一般会計
決算討論

賛成多数で可決

反対
日本共産党 新井光男議員
市民負担のある決算は反対

平成24年度決算は14億円の黒字になり、財政調整基金などの合計では、76億円も積み立てられている。その一方で9つのスポーツ施設が民営化され、小中学生には、使用料として年間約73万円もの負担。公園からは、遊具が24基も姿を消したが、再設置に必要な費用は約2600万円。このような市民負担のある決算には反対である。

賛成
かがやき21 民部佳代議員
大きな事業を順調に着手、実行できた

大井総合支所複合施設や広域ごみ処理施設など、大きな事業を順調に着手、実行できた。年少扶養控除の廃止など子育て世代への負担増は、小中学校大規模改修や子育てサロンなどで還元している。虐待防止の養育支援はもつと活用してほしい。ICT教育は県内でも高いレベルで誇れること。引き続き取り組みを。

市政を問う 一般質問

地域防災力の強化

：防災

総合防災訓練の課題は何か

堀口修一議員

問 課題を明らかにし、対策を向上させていくための総合防災訓練。前回から改善された点と新たな課題は。

答 前回は事前準備において、役割分担などが不明確であったが、今回は避難所運営会議を開催。課題の洗い出しや自主事業の実施など訓練内容の充実を図った。さらに、情報収集班の派遣とIP電話による交信訓練の実施、テレビ会議による連携を図った。また、各町会・自治会による市民主体の防災訓練実施が新たな課題である。

問 隣接する他市町の各町会へ参加の呼びかけをしていくべきでは。

答 防災レベルの均一化を図る上でも必要であると考え。その手法は今後の課題である。

問 マンション住民の参加状況と対策は。

答 いくつかの大型マンションの住民には、積極的に参加していただいている。県ホームページに掲載された「マンション震災時活動マニュアル作成の手引き」の周知に努めていく。

問 要援護者の避難訓練は。また、要援護者避難所へ直接避難すること必要では。

答 一部の町会・自治会で実施した。要援護者避

難所開設にかかわる課題は検討していく。

要援護者対策を進めよう

鈴木啓太郎議員

問 災害時に高齢者や障がい者の犠牲者を減らしていくために、国の方針で要援護者名簿作成が義務化され、関係部署で共有すべきとされた。防災訓練などでの福祉避難所開設とあわせ、市の対応は。

答 これまでの手上げ方式による災害時要援護者の名簿の作成から共有方式に転換していく。万単位の名簿の作成が必要で、これから関係部局の連携を進め、情報の共有を行う。それに基づ

き、避難所での要援護者の搬送訓練等の実施を考える。

災害時における協力的体制の拡充を

小林憲人議員

問 店舗等とは災害時における協力協定を結んでいるが、工場に関しては協定が締結されていない状態。協定の締結を進めていく。

答 一時避難場所や防災資源等の提供をいただくことは有効。協定の締結を進めていく。

大型地震への備えを

島田典朗議員

問 県の新たな地震動推計による地域防災計画の見直しは。

答 切迫性の高い地震が想定されており、県の人的被害やライフライン被害想定と整合性を図り見直ししていく。

消防団の認知度向上を

島田典朗議員

問 消防団に関する積極的な広報活動を。

答 市のホームページへのリンク設置や市報への掲載等、より積極的な支援を図っていく。

ICT部門の業務継続

小林憲人議員

問 災害時のICT部門

における業務継続は最優先項目。インターネット接続を一社のみに頼るのではなく、数社からの接続を可能にするべきでは。

答 インターネット接続について、庁内ネットワークの二重化や無線LANの活用等、災害に強い仕組みづくりを進めていく。

豊かなまちづくり

：文化・芸術

旧三福学校の復元

山田敏夫議員

問 近代的教育の発祥の建物である旧三福学校（※校舎市指定文化財）を復元する考えは。

答 上福岡歴史民俗資料館と大井郷土資料館のあり方も含めて、総合的に検討したい。

旧三福学校を観光資源に

田村法子議員

問 旧三福学校は復元を条件に取り壊され、その一部は保存されている経緯がある。復元



保存されている木材



旧三福学校（模型）

※旧三福学校 明治11年に、福岡村・中福岡村・福岡新村が合同して福岡村に設置した学校。

は文化的価値を生み、数少ない今後の観光資源となり得る。市の考えは。

答 昭和57年に解体復元調査をし、部材を保存している。復元には建築費が1億6千万円かかる。建築用地が確保できるか問題である。復元の必要性は認識しているが、財政負担を考えると難しい。

羽ばたけ ふじみん

仙田 定議員

問 ふじみ野市応援ソング「羽ばたけ ふじみん」の歌とダンスの活用を幅広く積極的に働きかけるべきである。地元を思う愛着心や誇りの醸成や、市のイメージアップにもつながると思うがいかがか。

答 保育所や小中学校では、運動会や体育祭などに歌やダンスの活

用を進めている。今後さらにも多方面へ働きかける。

問 歌を毎日夕方に放送している「夕焼け放送」のメロディや、上福岡駅の発車メロディに活用してみても。

答 検討する。

婚活支援

田村法子議員

問 ふじみ野市らしい婚活支援をしてはどうか。

答 直接実施はしていない。地域の活性化を目的に街コンを開催している例などもあり、今後の検討課題としていく。

花・木・鳥の制定は

福村光泰議員

問 合併10周年の平成27年に向けて、市民に未永く愛され親しまれ、郷土の象徴とする「花・木・鳥」の制定に対する考えはあるか。

答 従来からの慣行として「花・木・鳥」を

定めてきた意義もあり、制定について検討する。

市民の芸術作品の展示を

山田敏夫議員

問 市民の芸術文化の振興を図るため、市民の制作した作品を新庁舎や公園など野外に展示できないか。

答 8月にオープンした大井総合支所に展示スペースを設置した。また平成28年に完成予定の本庁舎増築棟にも計画している。

野外展示についても、引き続き公園の利用を許可することによって、より多くの市民の方に芸術・文化に触れていただく機会が増えるようにしていきたい。

公共施設の維持管理

仙田 定議員

問 施設の老朽化にあたり、公共施設アセットマネジメントの考え方を導入し、建物の修繕、更新、処分計画な

どを一括管理するシステムを早期に完成させるべきでは。

答 市では、平成22年度からデータ整備に着手しているが、現在は修繕履歴の調査確認をしている段階である。アセットマネジメントの導入により、これまでの施設の長寿命化を図るための「保全整備」から「予防保全整備」へ切り替える。さらには市全体の公共施設に対し、質と量の見直しを適正に行っていく方針である。

ふるさとハローワーク開設と就労支援

新井光男議員

問 ふるさとハローワークの開設は。

答 川越ハローワークと数回協議を重ね、要望書を提出した。設置に向けて引き続き積極的に努力する。

問 若者の雇用対策の充実を。

答 12月には、若者向け

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（11月下旬掲載予定）



と中高年向けのセミナーを市で開催する予定。

職員への制服支給

福村光泰議員

問 クールビズ実施中に「ふじみんシャツ」を統一した事務服として支給しては。

答 全職員に支給するのは難しい。

問 窓口の担当職員だけでも支給しては。

答 他市の状況を調査する中で検討する。

事業系ごみ収集の実態把握

塚越洋一議員

問 事業系ごみの実態把握は。

答 許可事業だが、統括責任は市にある。許可業者だけでなく、排出事業者も含め現場状況を十分踏まえ施策展開していきたい。

集団資源回収

西和彦議員

問 実施方法の改善に伴うアンケート調査を7

月に実施したが、その内容と今後の事業の方向性については。

答 「雑がみ」や「布類」を新たに対象品目に加

思いやりのまちづくり

：福祉

えることや、回収場所として家庭ごみ集積所利用の希望などを聞いた。今後も、貴重な資源物をより多く集め、焼却量の

削減並びに地球温暖化対策の一助になるよう事業展開をしていく。

公共施設建設に障がい者の意見を

山田敏夫議員

問 公共施設の建設にあたって、事前に障がい者の意見を聞いてはどうか。

答 予定している本庁舎増築耐震補強工事など、今後も障がい者団体の意見を聞いて可能な限り工事に反映していきたい。

あったかい高齢者対策

岸川彌生議員

問 結婚50年を迎える高齢者ご夫婦への祝意として、金婚式の実施ができないか。

育て支援センター事業の中で実施したい。

子育てサロンの拡充

伊藤美枝子議員

問 駒西放課後児童クラブで行われた出前子育てサロンに、113人の参加があった。この地域での設置が必要では。

答 施設がない地域もあるため、放課後児童クラブを利用した子育てサロンの拡充を検討する。

理的に不便。駐車場の設置でさらに利用も増える。小学校の駐車場に空きスペースがあるが利用は。

答 利用については担当課と相談する。

公立保育所の今後

伊藤初美議員

問 公開事業評価で、公立保育所の市による管理運営は不要と出たが、市はどう対応していくのか。

答 評価結果は尊重するが、民間も含めた認可保



東台放課後児童クラブ

ホームスタート事業の進捗は

伊藤美枝子議員

問 何らかの理由で家庭から出ることができない親子への訪問型子育て支援「ホームスタート事業」の進捗は。

答 精神障がい者の通所施設「ライトハウス」の継続と充実に市として必要な支援を。事業者と話し合っ

健康マイレージ制度の実施

伊藤美枝子議員

問 他市で行っている

みんなの健康を守る

：健康

認知症状の早期発見

小林憲人議員

問 認知症状を早期発見できれば、発症を遅らせ重篤化を防ぐことも可能。認知機能低下を早期発見するスクリーニングテストを導入すべきでは。

発育発達支援の拠点

田村法子議員

問 フクトピアのデイサービス移転後、施設を発育発達支援の拠点にしてはどうか。

答 療育ネットワーク会議の中で、発達支援の拠点づくりの検討を行っている。フクトピアの利

財源活かし 国保引き下げ

足立志津子議員

問 国民健康保険は、国民皆保険制度の下で役割もがわずれ加入することになる制度だ。基金を活用して、高すぎる国保税の一世帯1万円引き下げを。

介護保険の改善

塚越洋一議員

問 所得が低い人ほど負担が重くなる保険料の逆進性解消のための具体策は。

答 可能な限り、保険料負担の公平性に配慮した保険料改定に取り組んでいく。

業務量に見合った適正な職員配置を行うなど、機能の充実に取り組んでいく。

伊藤美枝子議員

国保広域化の対応

鈴木啓太郎議員

問 社会保障制度改革国民会議の最終報告が提出され、国保は市町村が保

答 国では平成29年度を目途に、国保の財政上の問題を解決した上で財政運営の主体を県に移

地域と学校で子どもを育てる

：教育

学校の地域協力に予算を

民部佳代議員

問 地域の部活動指導者には謝金の予算をとっ

医療費一部負担の軽減制度の拡大

足立志津子議員

問 災害などで所得がなくなった人への一部負担金の制度を、通院にまで拡大すべき。

無料低額診療事業の周知

足立志津子議員

問 国の制度である無料低額診療事業を周知し、

磁気ルーブシステムで音のバリアフリー

足立志津子議員

問 補聴器の音が鮮明に聞こえる「磁気ルーブシステム」を公共施設で使えるようにして、音のバリアフリー実施を。

就学援助制度の拡充

足立志津子議員

問 生活保護扶助費の引き下げの影響を避ける

負担軽減を図れないか。



小学校の授業風景

ネット依存症を防ぐために

島田典朗議員

問 厚生労働省のインターネット依存に関する調査によれば、中高生の8・1%が「病的な使用」に該当するとの結果が示された。情報教育の取り組みは。

答 研修会で教職員への指導を図るとともに、児童生徒にインターネット依存症の実態やモラルを指導していく。

問 相談窓口は。

答 各学校のスクールカウンセラー、さわやか相談員、教育相談室等が対応するとともに、県立総合教育センターや県警少年サポートセンターを紹介している。

他市に先駆けた幼児教育の推進を

小林憲人議員

問 国では、幼児教育の無償化を平成26年度より段階的に取り進む議論が進んでいる。現状で

の認識と今後の対応は。

答 幼児教育は重要だと考えている。国の方向性が決定した場合に速やかな対応ができるよう、動向に注視していく。

学校給食センターの民営化の法的根拠

塚越洋一議員

問 上福岡学校給食センターの調理部門の民営化は、単に労務の提供をするだけでは政府調達に反することになる。設備も光熱水費も全て市が持つなら、労務以外に何を提供するのか。他に

図書館の返却ポスト設置

民部佳代議員

問 図書館が遠いため返却が大変で借りるのをあきらめている人がいる。公共施設に返却ポストを設置できないか。

答 市内3カ所に設置を検討したが、約170万円かかるため現状では難しい。

PTA会計と学校経費

民部佳代議員

問 学校協力費などの名目でPTAから学校へ支出があるようだが、現状は。

答 市内すべての小中学校で行われている。

問 本来公費で負担すべき経費をPTAが負担することもあるのでは。

答 それはないと認識している。用途は学校行事や環境美化などが、使い道については指導を徹底していく。

もっと便利に安全に

…まちづくり

老朽化した公園遊具の補充

民部佳代議員

問 公共施設安全点検で公園の多くの遊具が老朽化で撤去されている。ほとんど遊具のないさびれた公園もあり、若い

人がここで子育てしようと思わないのでは。今後の方針は。

答 毎年2、3基しか設置できていない。選ばれたまちを指して今後は増やしていきたい。

市民憩の森前に横断歩道を

西 和彦議員

問 多くの方が安全・安心に施設を利用できるように、横断歩道の設置や歩道の切り下げなどの整備が必要ではないか。

荒川運動公園の移転を

大築 守議員

問 大井清掃センター跡地周辺を一体化して、荒川運動公園を移しては。

答 清掃センター跡地は1万平方メートルで、荒川運動公園と比較すると3万平方メートル不足しており、移転は難しい。福岡高校のグラウンド等の活用も含めて検討する。

答 鶴ヶ岡中央公園から順次舗装修繕を進め、一・二丁目内の路線全体についても、順次実施する。

清見交通公園で交通安全対策

岸川彌生議員

問 清見交通公園をさらに充実させ、子どもや高齢者への交通安全の活用はできないか。

答 施設整備、改修については段階的に進める。清見交通公園を活用した交通安全教室等の実施は、東人間警察署の協力の範囲内で充実していく。

空き家対策は

大築 守議員

問 空き家に、解体の補助金制度や固定資産税の特例措置を設けては。

答 補助金制度は研究していく。固定資産税の軽減についても建て替えの意思が確認されれば、軽減の対象となり得る。



市民憩の森前の市道

問 横断歩道については、埼玉県警察本部と交通協議を図る必要がある。実態把握などを行い、進める。また、歩道の整備についても、それと合わせて対応をしていく。

苗間みほの地区の住居表示は

西 和彦議員

問 苗間みほの地区の住居表示は検討をすることだったが、その後

答 この地区の実施方法

の研究等を行ったが、具体的事業実施段階には入っていない。今後住居表示未実施区域に対する中・長期的な計画を立案し、事業実施をしていく。

関越自動車道西側の雨水対策

伊藤初美議員

問 大井通信所周辺の対策に、国有提供施設等所在市町村助成交付金を活用できないか。

答 交付金を充てても足りない。この地域に還元できるように、交付金は公共施設の整備や改修の財源に充てるため設置された公共施設整備基金に、積み立てている。

大築 守議員

問 関越道西側地域の雨水対策の進捗は。

答 雨樋に浸透枳の設置申請が78件あり、28件は調査終了、10月に工事発注予定。大井西中学校周辺に調整池を整備するための概略設計を発注

する予定である。

市内循環バスの見直しとは

伊藤初美議員

問 料金の見直しはあるのか。

ヤマハ工場前の道路拡幅

伊藤初美議員

問 ヤマハ株式会社との用地買収交渉の進捗状況は。

答 工場の土壌浄化及び解体作業の完了が平成26年3月の予定。その後用地交渉を進め、年度末に間に合わない場合は、次年度に繰り越しを進めていく。

採納された市道整備

新井光男議員

問 苗間509番地付近など、私道を市に採納した道路の整備は。

答 平成21年度以降、10路線の採納を受けて7

路線を整備した。今後の整備は新年度で対応する。

花の木中学校前交差点の改善

足立志津子議員

問 花の木中学校交差点に右折帯の設置を。整備計画を検討する。

花の木中学校前に時差式信号機を

福村光泰議員

問 時差式信号機で渋滞が解消できるのでは。

答 信号機の改良については、一刻も早く実現できるように取り組む。

地域の理解協力に基づく道路整備を

島田典朗議員

問 旧大井学校給食センターからふじみ野駅西口へ向かう道路整備の進捗は。

答 8月16日に既に地元説明会を開催。今後、アンケートを実施予定。地権者と合意形成を図り

何があるのか。

答 事業者が限られた時間の中で、大量の調理をするノウハウを提供する。

問 図書館が遠いため返却が大変で借りるのをあきらめている人がいる。公共施設に返却ポストを設置できないか。

答 市内3カ所に設置を検討したが、約170万円かかるため現状では難しい。

問 学校協力費などの名目でPTAから学校へ支出があるようだが、現状は。

答 市内すべての小中学校で行われている。

問 本来公費で負担すべき経費をPTAが負担することもあるのでは。

答 それはないと認識している。用途は学校行事や環境美化などが、使い道については指導を徹底していく。

チェック!

公園・学校・道路など 公共施設の安全点検結果報告

プール事故の教訓から、安全・安心な公共施設を目指して、毎年7月25日から31日までを公共施設安全点検週間と定め、市は実地点検を行っています。また、道路や公園遊具などの過去1年間の常時点検結果や対応状況も市議会に報告されました。

■安全点検のあり方

安全点検は、マニュアルに従って行われていますが、老朽化点検が主たる目的となっていないか質疑が集中しました。過去の事故例を本市に当てはめた検証や利用者の動線の予測、設計上に内在する危険の予知、新たな担当者への引き継ぎなど、さまざまな手法による点検方法を提唱しました。

■上福岡公民館・勤労福祉センター・コミュニティセンター

外壁の落下防止工事などを行うため、平成25年12月から平成26年3月の間、全館または一部休館となる期間があります。建物そのものの危険箇所だけでな

■公共施設安全点検結果一覧

是正をしないと使用できないもの

区分	対象施設数	是正済	未是正	是正済	未是正
公共施設	88	0	1	0	7
小・中学校	19	0	0	0	2
道路、公園、防犯灯、反射鏡等	10,448※	7	4	75	40

※常時の点検により危険箇所を発見し次第是正しているため、過去1年分の対応状況を取りまとめました。

即時使用中止などの必要はないが、おおむね1年以内に是正が必要なもの

く、備品に関し、老朽化や設計上の危険について指摘しました。

■公園遊具

老朽化のほか、頭や体が挟まる恐れなど、現在の安全基準に適合しない遊具の修繕・撤去が進められています。しかし、撤去に比べ、再設置の数が少ないため、計画的な設置や設置予定の周知を求めました。

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。市議会の議事録も見られます。

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/>

ふじみ野市議会 をクリック

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定 : 11月29日 午前9:30~

請願締め切り予定 : 11月19日 午前10:00

編集後記

議会中に、自然の神秘と恐怖を体験することとなりました。今年の中秋の名月は、満月。すすきやお団子を供え、収穫に感謝し、うさぎの餅つきが見える見えのないの家族団らんは、微笑ましい風景です。そして、ここは日本なのかと思わせた竜巻。田畑にがれきが入り込み、収穫作業の障害となっています。東日本大震災でも、海や田畑の恵みへの影響は計り知れないものとなりました。自然には逆らえなくても、生活再建を進めていくのは政治の役割。災害を最小限に防ぐことができる最大の努力を議会からも提案しなければなりません。このまちに住んでいたら何があったても安心、このまちが大好きという市民のために、しっかりと議論する議会を紹介できるように広報活動していきたいものです。(伊藤初美)

議会広報常任委員会

委員長	民部 佳代	副委員長	伊藤 初美
委員	小林 憲人	委員	仙田 定
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	堀口 修一		

表紙の題字を書いた人

花の木中3年 森 仁志さん

ふじみ野



横書きだったので、字のバランスをとるのが難しかったです。「野」がうまく書けなくて、何枚も何枚も練習しました。

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。